

平成30年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実				
予 算 額	276, 365千円	新規・継続の別	継続		
	（政策枠 7,000 千円 局配分 269,365 千円）	政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的新規充実予算・局配分枠		
担 当 課	地域自治推進室 区政推進担当(222－3048)				
【事業実施に至る経過・背景など】					
区民の自主的、自発的な活動を更に活性化させるため、地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつくっていく」という地域のまちづくりを、区役所が柔軟かつスピーディにしっかりと支えていく協働の仕組みづくりとして、新たな予算システム「京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり『区民提案（*1）・共汗型まちづくり支援事業（*2）予算』」を平成24年度に創設し、本市のあらゆる施策のベースとなる「地域力」の強化を図る取組を推進してきた。					
また、「共汗型事業」については、平成29年度に引き続き、各区が配分額を超えて予算要求することを可能とし、最も市民に身近な区役所・支所が区民のニーズを踏まえた事業を実施する等により、区民の京都ならではの地域力を活かした協働型のまちづくりの取組を進めている。					
*1 区民提案型支援事業（92,978 千円） 区基本計画に掲げる区のビジョンの実現に向けて区民が自発的、自主的に企画、運営する事業を募集し、審査会の選考により採択し、経費の一部を補助する「区民提案型支援事業」を各区において創設 *2 共汗型事業（183,387 千円） 区基本計画の実現や地域課題の解決に向けて、幅広い区民が参画する区民まちづくり会議における議論等を踏まえ、区民と各区役所が共汗して取り組む区民ぐるみの事業を「共汗型事業」として実施					
【事業概要】					
各区における具体的な事業については、各区作成資料のとおり					
○ 各区予算額（単位：千円）					
	配分額		配分額		配分額
北 区	24, 025	東山区	14, 720	右京区	33, 310
上京区	19, 365	山科区	30, 840	西京区	28, 680
左京区	26, 005	下京区	17, 375	伏見区	44, 215
中京区	18, 925	南 区	18, 905	合 計	276, 365
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】					

平成30年度 京都市予算案 事業概要

北区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	24, 025千円	新規・継続の別	継続
	（政策枠 2,600 千円 局配分 21,425 千円）	政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的充実予算・局配分枠
担 当 課	地域力推進室(432－1199)		
【事業実施に至る経過・背景など】 北区基本計画の後期5箇年のまちづくりの指針として策定した「北区民つながるプログラム」（以下、「プログラム」という。）に基づき、「自分ごと」，「みんなごと」のまちづくりに取り組んでいる。			
【事業概要】 平成30年度はまちづくりの根幹である，「地域コミュニティの活性化」をはじめ，「文化を基軸としたまちづくり」，「はぐくみ文化の創造」，「健康長寿のまち・北区の推進」を重点施策として掲げ，「レジリエントなまちづくり」も念頭に置きつつ，プログラムの着実な推進を図る。			
【区民提案型支援事業 ②97,911 千円→③08,100 千円】 ○ 北区民まちづくり提案支援事業（充実） 6, 900 千円 北区の重点施策の推進に資する事業に対して高い補助率（上限90％）の助成を行う特定部門（北部山間交流，地域コミュニティ加入促進，健康長寿推進など）に，新たに「文化枠」を加え，文化庁移転の機運を区民ぐるみで高める。			
【共汗型事業 ②14,514 千円→③15,925 千円】 ○ 「インターバル速歩」を活用した健康長寿のまち・北区の推進（政策枠） 1, 500 千円 「健康長寿のまち・北区」を推進するため，京都産業大学（平成29年4月，現代社会学部開設）と連携し，ロコモティブシンドロームの予防や生活習慣病リスクの改善に効果があるとされている「インターバル速歩」の普及啓発に努める。			
○ 【ニコニコ北っ子】子どもとはぐくむ地域の絆（政策枠） 1, 100 千円 「はぐくみ文化の創造」と「地域コミュニティの活性化」，さらには「レジリエントなまちづくり」を進めるため，様々な世代の住民の方々が，地域の子どもと顔の見える関係を築けるよう，相互に接する機会を創出する取組を地域の実情に応じて推進する。			
○ 【ニコニコ北っ子】つながるフェスタ（新規） 700 千円 子育てに係る関係機関や大学と連携し，ファミリーコンサートや遊び場の提供を通じて，子育て中の親子やこれから妊娠・出産を控える世代など幅広い世代の交流を深めるイベントを開催する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

上京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予 算 額	19,365千円 〔政策枠 3,100 千円 局配分 16,265 千円〕	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的充実予算・局配分枠
担 当 課	地域力推進室(441－5029)		
【事業実施に至る経過・背景など】 平成 32 年度を目標年次とする上京区基本計画に掲げる「絆で織りなす 住みよいまち上京」に向けたまちづくりの推進のため、地域の皆様とともに取り組んでいる。			
【事業概要】 平成 30 年度は、これまでに引き続き地域課題の解決に向けた取組を行うとともに、新たに、上京区が有する歴史・文化を再認識し、それらの継承・発展に資する事業等に取り組み、上京区の再活性化を図る。			
【区民提案型支援事業 ㉔5,825 千円→㉓5,825 千円】			
○ 上京区民まちづくり活動支援事業 5,575 千円 「絆で織りなす 住みよいまち上京」を築くために上京区民の自発的、主体的なまちづくり活動への補助を通して、地域コミュニティの振興と区民参加によるパートナーシップのまちづくりを進める。平成 30 年度は「上京区 140 周年」及び「明治 150 年」を特定テーマとして募集する。			
【共汗型事業 ㉒10,990 千円→㉓13,540 千円】			
○ 上京型観光の創出～アプリを活用した魅力発信（政策枠） 1,400 千円 上京区内で培われてきた文化や町並み等の魅力を、地域の方や観光客に知っていただけるよう地域のスポット（駒札等の観光案内板、応仁の乱東陣プロジェクトのまち歩きコースなど）やおススメ情報を集約したアプリを作成・配信する。			
○ ふれあい広場の整備（政策枠） 1,000 千円 旧寺之内交番跡地において、木製ベンチや東屋など市内産木材をふんだんに使用したふれあい広場を整備し、多様な世代が集い、地域コミュニティの核となる場を創設する。			
○ 楽しもう食育、はじめよう木育～はじめの一口を手づくりスプーンで～（政策枠） 700 千円 市内産木材の間伐材を利用した木製の離乳食用スプーンを製作し、上京区 140 周年を迎える平成 31 年に生まれる赤ちゃんに贈呈することで、幼少期からの食育・木育を推進する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

左京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	26, 005千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	地域力推進室(702－1021)		
【事業実施に至る経過・背景など】 平成30年度は、「左京はあとふるプラン」（左京区基本計画）の後期重点方針を踏まえ、区民の皆様との共汗の下、昨年度の「北部山間振興」，「文化力向上」，「健康なまちづくり」に「子どもはぐくみ」を加えた4つの重点事項に基づく取組や、区民ふれあい事業を展開することにより、同プランの更なる推進を図る。			
【事業概要】 区民提案型支援事業について、「左京区まちづくり活動支援事業」における重点分野部門の充実を図るとともに、共汗型事業について、文化力の向上や子どもはぐくみの推進を図る新規事業に取り組む。			
【区民提案型支援事業 ②9, 413 千円→③9, 563 千円】 ○ 左京区まちづくり活動支援事業（充実）8, 563千円 重点分野部門の「伝統文化振興」分野に「明治150年」関連事業を追加するなど、区民の参加と協働によるまちづくりを更に推進し、まちの魅力向上や地域課題の解決を図る。			
【共汗型事業 ②16, 192 千円→③16, 442 千円】 ○ 左京・地域 ゆかりの文化 発信・継承プロジェクト（新規）2, 000千円 左京区の伝統行事，郷土料理等，地域ゆかりの文化の魅力を区内外へ発信するとともに，50年後，100年後まで継承されるよう取組を実施する。また，明治150年を記念して，区民ぐるみで明治期の足跡を振り返り，今後のまちづくりに活かしていくため，講演会や明治関連事業を実施する。 ○ 左京子どもはぐくみの推進 さきょうほっこりベビーフェスタ（仮称）（新規）400千円 妊娠期と0歳児を持つ親を対象に京響の演奏や子育て相談を実施するフェスタの開催を通じて，既存事業とも連携させながら安心して子育てができる環境づくりを更に推進する。 ○ チマキザサ再生プロジェクト（充実）850千円 チマキザサの持続的な再生を図るため，生産から販売に至るまでの流通モデルの確立に向けた現状調査等を実施する。			
【参 考】（他都市の状況・事業効果など）			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

中京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	18,925千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	地域力推進室(812－2421)		
[事業実施に至る経緯・背景など] 中京区基本計画を着実に推進するため、区民主体のまちづくり活動を支援する「中京区民まちづくり支援事業」や区民との協働で地域課題に取り組む「共汗型事業」を実施している。			
[事業概要] 平成30年度は、区民提案型支援事業で推奨テーマを設定し、明治期の足跡を振り返る活動等を支援する。共汗型事業では、「中京マチビト Cafe」や「中京クーチャーセンター」事業の充実を図るほか、乳幼児世帯向けの防災講座を行うなど、乳幼児世帯や子どもに対する防災意識の向上を図る。			
【区民提案型支援事業 ㊳6,520千円 → ㊳6,520千円】			
○ 中京区民まちづくり支援事業（充実）		5,945千円	
区基本計画の実現のため区民主体のまちづくり事業を支援する。平成30年度は、「明治150年」を踏まえ、文化に関連する推奨テーマを設定し支援する。			
【共汗型事業 ㊳11,805千円 → ㊳12,405千円】			
○ 中京区明治150年記念事業（新規）		220千円	
幕末の政変から維新後の近代化を担った京都市民に焦点を当て、中京のまちや人々の暮らしを振り返る講演会を開催する。			
○ 子どもたちに対する文化財普及啓発事業（新規）		500千円	
子どもの頃から文化財に接し、その理解を深めるため、中京区ならではの歴史に密着した講座を開催する。			
○ 「中京クーチャーセンター」事業（充実）		300千円	
区基本計画に位置付けているまちづくりの重点課題の解決に資する取組を進めようとする区民等に対して、新たなアクションを生み出すための支援を行う。			
平成30年度は、京都の通り歌を通じて多世代交流を図る事業の具体化を支援する。			
○ 「中京ベビーズサポートマーケット」プロジェクト事業（充実）		1,900千円	
乳幼児親子が楽しめる「ベビサポ広場」や「ベビサポフェスタ」を開催する。ベビサポ広場では新たに防災講座を開催し、乳幼児世帯の防災意識の向上を図る。			
○ 「誰かのために何ができる」防災事業（充実）		1,600千円	
乳幼児世帯向けの「防災マニュアルブック」を発行（約10,000部・11月末予定）し、乳幼児世帯への更なる防災意識の向上を図るとともに子ども向け防災訓練の実施や商店街と連携した防災訓練を通じて商店街同士の交流を図る。			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

東山区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	14,720千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	地域力推進室(561－9105)		
【事業実施に至る経過・背景など】 「東山・まち・みらい計画2020」の着実な推進を図るため、「安心安全のまち東山」「子育てしやすいまち東山」及び「区内の大学との連携・協力」を区の方針の大きな柱とし、東山の魅力の発信や向上に取り組む施策を推進する。			
【事業概要】 区民提案型事業については、区の課題解決のため新規2事業を含む4つのプロジェクトに取り組む。東山区まちづくり支援事業助成金では、 <u>歴史力・文化力の活性化に資する取組</u> に対して高い助成率を設定。共汗型事業については、明治150年記念事業に関する新規・充実事業を含む計8事業に取り組む。			
【区民提案型支援事業 ㊸7,010千円→㊸7,010千円】			
○ プロジェクト型事業		2,100千円	
1 外国人おもてなしプロジェクト（新規） 外国人観光客の文化や習慣を区民や店舗等が正しく理解する機会の創出や、外国人観光客の市バスのスムーズな乗降に役立つ指差し手帳を秋頃に作成し、区役所等で配布を行う。			
2 京焼・清水焼 東山「目利き」づくりプロジェクト（新規） 消費者に伝統産業の良さを伝え、その感度を上げるため、京焼・清水焼を対象に「目利き」のポイントをまとめ、認知度向上等の複合的な成果を目指す。			
3 高齢者支援プロジェクト 学生が高齢者との交流を通して地域の中でその生活を理解し、支援の活動を行うなど、健康長寿のまちの実現に取り組む。			
4 東山・大学連携プロジェクト 外国人観光客への道案内など、区内の大学・高校と連携した取組を推進する。			
○ 東山区まちづくり支援事業助成金（充実）		4,580千円	
東山区の課題解決、魅力向上等を図る活動を支援する。対象事業に、昨年度に設定した空き家・民泊への対応等に資する取組に加え、明治150年を記念して <u>歴史力・文化力の活性化に資する取組を助成する枠を新設する。</u>			
【共汗型事業 ㊸7,710千円→㊸7,710千円】			
○ 明治を学ぼう！東山（新規）		400千円	
明治150年記念全区リレー事業として、講義「明治期の京焼・清水焼」を開催するほか、明治期に陶磁器において日本を代表する芸術性を有し、一大産業地帯でもあった東山の史跡や先人の足跡をたどるまち歩き企画を実施する。			
○ 再発見！明治時代と東山（充実）		1,262千円	
歴史と文化の宝庫、東山で「明治」をキーワードとしたフォトコンテストを実施するとともに、明治にまつわるスポットを学生が紹介する動画を作成し、区の来訪者向けホームページに掲載する。			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

山科区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	30,840千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	地域力推進室(592－3065)		
【事業実施に至る経過・背景など】 「区民提案型支援事業（山科“きずな”支援事業）」については、24年度からの6年間で、207件、90団体を支援しているが、区民の手によるまちづくり活動を更に活発化するために、補助金の交付に加え、多面的な支援・協力を行う。 また、「共汗型事業」については、平成29年度から実施している「やましの輝きプロジェクト」を中心に、引き続き地域課題の解決に向けた取組を行う。			
【事業概要】 【区民提案型支援事業 ②99,870千円→③09,870千円】 ○ 山科“きずな”支援事業 9,545千円 地域団体、NPO法人、大学等が行う自発的、主体的なまちづくり活動・事業を公募し、審査を経て補助金を交付する。これまでの6年間の成果を踏まえ、地域で活動する団体やグループ間の交流・連携の場となる交流会、成果報告会を開催すること等により、まちづくり活動の広がりや活発化を目指す。			
【共汗型事業 ②23,970千円→③20,970千円】 ○ やましの輝きプロジェクト 10,000千円 区民一人ひとりが、いきいきと輝き、活躍できる「住みやすい」「住み続けたい」まちの実現のため、安心・安全や子育て環境の充実などの観点から、「地域力を活かした空き家対策」「笑顔と花いっぱいプロジェクト」等の区民参加型の各種事業を実施する。また、健康寿命延伸のため、認知症予防に効果が期待される創造的な活動として、清水焼団地協同組合の協力の下、清水焼の制作体験及び完成した器を使用する料理教室等を実施するほか、区内寺院の協力の下、「写経」「写仏」の体験事業を実施する。 そして、「住みやすいまち」の魅力を広く発信することにより、「住みたいまち」「住んでみたいまち」を目指していく。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

下京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	17,375千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	地域力推進室（371－7163）		
【事業実施に至る経過・背景など】 下京区では、区民が主役となって、「下京区基本計画」に基づく着実なまちづくりを推進するために、以下の6つの予算編成方針に基づき、「住んでよし」「働いてよし」「訪れてよし」の魅力あるまちを目指す。 ① 健康長寿・子どもはぐくみ・安心安全などの重点取組を着実に推進 ② 防災防犯や民泊対策等それぞれの学区の課題解決のためのまちづくりを推進 ③ 文化を基軸とした、地域の魅力の掘り起し ④ 京都駅東部・西部のエリアマネジメントが円滑に進むよう支援 ⑤ 子育て環境の充実や移住促進を目的とした、下京区の情報・魅力を発信 ⑥ 周年事業の実施による、新たな絆づくり			
【事業概要】			
【区民提案型支援事業 298,665千円→308,295千円】			
○ 下京区区民が主役のまちづくりサポート事業		7,695千円	
大学・学生グループが地域と連携して行う文化・芸術活動を支援する「芸術文化枠」を継続するとともに、「明治150年」に関連する事業を、審査において加点し、文化によるまちづくりを更に推進する。			
【共汗型事業 297,860千円→309,080千円】			
○ 下京区明治150年記念事業（新規）		800千円	
明治期に建築された近代建築物や京町家等を巡るまち歩きを開催し、地域の歴史を学んで、過去の偉業の足跡を振り返るとともに、楽しく健康になるイベントを実施する。			
○ 地域コミュニティ活性化事業（充実）		730千円	
積極的に地域に出向き、意見交換を重ねるとともに、横断的に関係局とも連携しながら、学区におけるまちづくり委員会の設立への支援を行う。			
○ 下京区民まちづくり会議（充実）		700千円	
第2期下京区基本計画の総括として、より多くの区民の方々の実感や意見を集めるため、区民アンケートを実施し、次期計画策定に反映する。			
○ 下京区140周年記念事業（新規）		1,000千円	
下京区140周年記念事業として、平成31年3月14日（予定）に、キックオフイベントを実施する。同日は下京区が誕生した日であり、「下京区防犯の日」でもあるため、「安心安全」の取組とタイアップして開催する。			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

南区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	18,905千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	地域力推進室(681－3111)		
【事業実施に至る経過・背景など】 南区が誇るみなみ力による地域の「つながり」を基軸に、子どもたちの「はぐくみ」を大切に、いつまでも健やかに生き活きと暮らせる「いとなみ」を生み出すことで南区基本計画に掲げる将来像の実現に向けた取組を推進する。			
【事業概要】			
【区民提案型支援事業 ②94,940千円→③04,940千円】			
○ みなみ力で頑張る！区民応援事業（継続）		4,440千円	
各種団体、NPO等が主体となって取り組むまちづくり活動や地域主体の取組を支援する。			
○ 学区の安心安全応援事業＜仮称＞（継続）		500千円	
地域（自治会）主体の安心・安全の取組を支援する。			
【共汗型事業 ②15,265千円→③13,965千円】			
○ 健康長寿推進事業（充実）		600千円	
健康長寿のまち南区の実現を目指し、地域主体の健康づくり取組支援の充実を図るとともに、新たに子育て中の若い世代の女性の生活スタイルに照準を合わせ、多忙な中でも「かんたん・手軽」に取り組める健康づくりの啓発等を実施する（若い世代の女性への健康づくり事業、地域の健康づくり支援事業、「健康長寿のまち南区」歴史文化発見ウォーキング）。			
○ 九条ねぎをはじめとする京野菜・京都肉PRプロジェクト＜仮称＞（新規）		500千円	
来年度の第二市場の新施設操業開始に合わせて、九条ねぎをはじめとする地元産京都野菜や京都肉をPR・販売促進するイベントを実施し、地域の資源を活かした活力あるまちづくりを推進する。			
○ 南区情報ステーション事業＜仮称＞（新規）		500千円	
南区内でまちづくりや人づくりに貢献している個人・団体等の情報や区内の地域情報等を集め、発掘し、広く発信する「南区情報ステーション（仮称）」を設置することによって、地域に根差した「つながり」のさらなる活性化を図る。			
○ “明治を区民ぐるみで振り返る” 明治150年記念・全区リレー事業			
「京都の玄関口から見た明治維新时期」（新規）		140千円	
明治150年を記念して、長谷川家住宅の協力を得て、明治期の南区を追体験できる講演と散策会等を実施する。			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

右京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	33,310千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	地域力推進室(861－1784)		
【事業実施に至る経過・背景など】 「右京かがやきプラン（京都市右京区基本計画2020）」の着実な推進を図るため、 「右京区まちづくり区民会議」やその下に設置したプロジェクトチームを核とし、区民 主体の様々な取組を進めている。			
【事業概要】			
【区民提案型支援事業 ②911,000千円→③011,000千円】			
○ 右京区まちづくり支援制度（充実） これまでの取組に加え、新たに「地域に根付く暮らしの文化」や「明治150年に 関連する右京区の歴史・文化」を発掘し、継承・発展させる区民の機運を高める取 組を重点テーマとして設定し、交付率を嵩上げ（1/2→2/3）する。			
【共汗型事業 ②22,490千円→③022,310千円】			
○ 右京子どもの未来応援事業（新規）1,600千円 様々な課題を抱えている貧困等のハイリスク子育て世帯を地域全体で支えていく ため、関係機関との情報共有を行う講演会・シンポジウムの開催や、地域での子育 て世帯への見守り支援等で活躍する人材を育成する。また、「子どもとのふれあい 遊び」や「親同士の交流の場」について、現在実施している8ヵ月、1歳6ヵ月、3 歳児健診に加えて、新たに4ヵ月健診の機会にも拡大して実施する。			
○ 高雄地域をはじめとする観光客分散化の推進（新規）350千円 高雄地域と台湾高雄市のマラソンでの相互交流を弾みに、台湾高雄市の行政区と の友好交流協定締結を目指すなど、更に交流を深め、台湾からの観光客を誘致する。 また、嵯峨野や奥嵯峨地域など、自然豊かで魅力ある地域を対象に、観光資源の 発掘や情報発信を行う。			
○ プロスポーツチームとのパートナーシップ事業（新規）300千円 地元プロスポーツチームとのパートナーシップ協定に基づき、各球団と区役所、 地域との連携イベントや子ども向けスポーツ教室等を開催し、スポーツを通じて地 域の絆がより一層深まるまちづくりを進める。			
○ 「食×まちづくり」京都創生・右京モデル（充実）1,400千円 地元商店での消費が地域内で最もお金を循環させるという調査結果に着目し、 <u>地 産地消を実践するお店・事業者を募集するとともに、区内での消費を区民に呼びか け、「地域内循環型経済」を区民ぐるみで取り組むことにより、雇用の創出や定住 促進につなげる仕組みづくりを進める。</u>			
○ 気付き はじめる 健康づくり ～右京からだの学校～（充実）1,200千円 参加者の日々の生活習慣や健診データ、体力測定結果をもとに、京都大学医学部 と協働して、定期的に医学的評価や助言を行うことで、楽しみながら、地域ぐるみ で運動習慣や生活習慣の改善につなげる。2年目となる平成30年度は、対象者を拡 大して実施するとともに、 <u>地域主体で継続できる仕組みづくりを検討する。</u>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

西京区役所・洛西支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」の更なる充実		
予算額	28,680千円 (政策枠 1,300千円) (局配分 27,380千円)	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	政策的充実予算・局配分枠
担当課	西京区役所地域力推進室(381-7157), 洛西支所地域力推進室(332-9185)		
【事業実施に至る経過・背景など】 平成24年度から、西京区基本計画で掲げたまちづくりを実現するため、区民主体のまちづくり活動を支援する「区民提案型事業」と区民との協働でまちづくりの活性化や地域課題を解決する「共汗型事業」を実施している。			
【事業概要】 区民提案型事業の「西京区地域力サポート事業」については、子育て支援や健康長寿など地域の活性化に取り組む活動を積極的に支援する。共汗型事業については、地域の更なる活性化や子育て支援、健康長寿、洛西地域の活性化に向けた取組等を実施し、地域力を活かした西京区の更なる活性化を進めるとともに、広く西京区の魅力を発信する。			
【区民提案型支援事業 29,590千円→30,590千円】 ○ 西京区地域力サポート事業 ほか (継続) 8,590千円 「地域力」を活かしたまちづくりや安心安全なまちづくりを支援するための補助金の執行を継続するとともに、平成29年度に引き続き、まちづくり活動を行っている活動団体に向け、「地域力サポート講座」を実施し、自主的・自発的なまちづくり活動を支援する。			
【共汗型事業 29,940千円→30,090千円】 ○ 西京区の魅力と文化の発信～西京区認知度 up 大作戦～ (政策枠) 1,300千円 区内外から広く人が集まる阪急嵐山駅、松尾大社等で、西京区の寺社や観光地、そして、まだ注目されていない埋もれた文化財やその土地の魅力などを紹介することで、西京区の魅力と文化を発信し、西京区の知名度の向上に努めるとともに、観光の分散化を図る。			
○ 西京子どもはぐくみ文化創造発信事業 (新規) 600千円 地域における「はぐくみ文化」を創造・発信するために、子育てに係るセミナーやフォーラム、はぐくみフェスタを実施するとともに、お父さんと子どもを対象にした事業を実施し、父親の育児参加を通じた働き方改革を推進する。			
○ 西京区明治150年記念事業 (新規) 100千円 明治150年を記念し各区役所・支所が実施するリレー事業の一環として、明治初期の西京区の歴史を振り返るイベントを実施し、市民ぐるみで明治以降の京都の歩みを見直し、学ぶ機会を提供する。			
○ ネイチャーパーク@生物多様性のまち らくさい (充実) 400千円 子どもたちに洛西地域の生物多様性を実感し、関心を深めてもらうため、緑豊かな公園で自然観察会や冒険遊び場を開催する。地域のNPO法人による竹のジャングルジムやジェットコースターの設置、地域住民による読み聞かせなど、子どもたちが楽しめる場づくりを行う。			
○ らくさい健康長寿プロジェクト (充実) 450千円 子育て世代にも若いうちから健康づくりに取り組んでもらうことを目指し、子連れでも参加できるイベントを実施する。また、健康ウォーキングや健康診査などの様々な事業をつなぐスタンプラリーを実施し、健康づくりの活動を習慣化するきっかけとする。			

平成30年度 京都市予算案 事業概要

伏見区役所・深草支所・醍醐支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	44, 215千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算・局配分枠等の別	局配分枠
担 当 課	伏見区役所地域力推進室(611－1295) 深草支所地域力推進室(642－3125) 醍醐支所地域力推進室(571－6105)		
【事業実施に至る経過・背景など】 伏見区では、平成24年度に創設した当予算を活用し、伏見区基本計画に掲げる伏見区の将来像の実現に向けた区民主体の取組を支援している。			
【事業概要】 平成30年度は、「伏見区基本計画」の策定から8年目を迎え、計画策定後の状況の変化を捉え、あらゆる主体の連携による地域の総合力を活かし、文化を基軸とした伏見のまちづくりを加速させる。【平成30年度予算から区民提案型支援事業と共汗型事業間で区分を整理】			
【区民提案型支援事業 ㊤31,495千円→㊤13,265千円】			
○ 伏見区民活動支援事業（充実）			11,020千円
伏見区基本計画に掲げる区の将来像の実現を目指し、区民自らが提案し、取り組むまちづくり活動を公募し、財政的支援を行う。平成30年度は、一般枠における「明治150年・京都のキセキ」と呼応する取組の積極的なPR、小規模枠における3分野の重点支援事業（子どもの貧困対策等、健康長寿、地域防災）の充実を図る。			
【共汗型事業 ㊤12,970千円→㊤30,950千円】			
○ 伏見「文化・観光の語り部創生」（新規）			500千円
伏見の奥深い魅力や多様な観光コンテンツの発信力強化を目的に、伏見文化・観光の語り部を育成し、区民自らが地域の魅力を知り、発信することができる環境（担い手育成、交流、ガイドマッチング）を整え、伏見ならではのクリエイティブツーリズムの実現を図る。			
○ 伏見稲荷大社周辺の歩きやすいまちづくり（新規）			1,000千円
伏見稲荷大社周辺で発生している交通混雑等の課題に対して、実態調査や関係機関による会議の実践的な運営により、交通混雑の緩和や観光客の分散化を図り、地域住民の生活環境を守る。			
○ だいが地域活動若者応援隊（継続）			1,200千円
地域住民や学生等の若者を中心とした、地域とともにまちづくり活動に取り組む人材を募集し、地域で活躍できる機会を創出することで、地域のまちづくり活動の活性化を図るとともに、若者が自身の主体性を伸ばし、自らの生き方をデザインするきっかけとすること、そして将来的には地域コミュニティの担い手として活躍することを目指す。			